

この熱気再び

第48回東白川村 郷土歌舞伎公演

「清流の国さぶ」文化祭2024 地芝居・伝承芸能フェスティバル

とき 令和6年9月15日(日)

開場 正午 開演 7時

ところ はなのき会館(東白川村神主606)
入場料 無料

演目

義士十二刻 瀬田又之丞住家

子ども歌舞伎

浮世柄比翼稲妻

仲ノ町鞆当の場

源平魁蹴躑 扇屋熊谷

主催 東白川村歌舞伎保存会

後援 東白川村 東白川村教育委員会 東白川村文化協会 JAめぐみの東白川支店 東白川村商工会 東白川村森林組合 東白川村観光協会

問合せ 東白川村教育委員会 0574-78-3111

※岐阜県の「地芝居スタンプラリー」対象公演です

第48回 東白川村郷土歌舞伎公演

とき 令和6年9月15日(日) 正午開場／7時開演 (5時終了予定) ところ はなのき会館
振付指導 松本団女師匠 主催 東白川村歌舞伎保存会

義士十二刻

瀬田又之丞住家

赤穂浪士の一人である瀬田又之丞は鳥目へ夜になると目が見えなくなる。病を患いながらも主君の仇、吉良上野介を討つ機を伺っていた。そこへ清水一角から今夜、吉良邸で茶会が催されることを聞き、ついに待ち望んだ日が来た。喜んでそのことを大石内蔵助に伝えようとする瀬田だが、日暮れになり目が見えなくなってしまう。討入りに行けないう自身の境遇に絶望する瀬田の元へ妻の浪路と娘の小夜が現れるのだが、忠臣蔵の外伝であり、地歌舞伎でしか観られないう芝居。新人のはつあつとした演技にもご期待ください。

瀬田又之丞 田口 房国
妻浪路 永井 祐子
娘小夜 永井 結菜
清水一角 若井 純
おはま 安江 葵
お美津 成瀬美寿葉

浮世柄比翼稲妻

仲ノ町轄当の場

不破伴左衛門重勝と名古屋山三元春は、傾城葛城を巡って張り合いうライバル同士。吉原仲ノ町です

れ違ひ際に刀の鞘が当たったことから斬り合いになります。引手茶屋の女お福が止めに入って、その場を納めます。娘たちの踊りや餅つきなど、地歌舞伎ならではの演出も加わり、お芝居に華を添えます。満開の桜が咲き出す夜の吉原に美しい言葉を連ねた二人の男の渡り台詞が響き合う。歌舞伎の様式美を凝縮したような一幕です。今年は小学6年生全員に担任教師も加わり、クラスが一丸になって作り上げる卒業記念の演目です。多くの声援をお願いします。

不破伴左衛門 今井 潤哉
名古屋山三 安江 理央
お福 安江 怜織奈
竹松 田口 摩陽都
お六 永禮 友美
お松 安江 美心都
お梅 牧野 未知
お花 安江 麻結
お杉 安江 愛来
お白 安江 月愛
後見 苅田 芽奈

源平魁蹴躑

扇屋熊谷

教盛は旧臣である扇屋上総の家に女装して大勢の折子の一人小萩としてかくまわれていた。上総の働きにより家宝の笛が戻り懐かしさに思わず笛を吹く。その妙なる調べに、名を伏せ軍扇を誂えにきていた熊谷直実は一っと耳を傾ける。

る。しかし青葉の笛を所望した扇屋上総をあやしめ、姉輪が扇屋へ乗り込んできた。折子の乳房までゆちゆち改め、女装の教盛を揺す姉輪に逃れるすべもなくなった小萩(教盛)だった。

熊谷次郎直実 安江 昭仁
小萩実 安江 将永
扇屋上総 村雲 晴夫
姉輪平次宗景 大西 紘記
提軍次 安江 忠孝
水戸忠太 秋元 美樹
扇屋の娘桂子 大西 縁
三太 小泉 駿平
折子おなべ 河原 知子
折子おつづ 古田 真由美
折子おたけ 熊崎 恵子
折子おひろ 若井 風
口上

地歌舞伎、地芝居は、ここ東白川村でも江戸時代から親しまれてきた郷土芸能です。祭事などと一緒に開催されることが多く、村人が料理やお酒を飲みながら、世代を超えて笑ったり泣いたり、拍手喝采で盛り上がるのができた数少ない場でした。当保存会では、肩ひじを張るなり、ゆったりとした会場の雰囲気も大切にしています。来ていただく皆様は笑顔になってもあえるよう、役者、裏方一丸となって精進いたします。たくさんのご来場をお待ちしています！



東白川村歌舞伎保存会
facebookページでは常に
最新情報を提供しています

各演目の開始時間は目安です
余裕をもってお出かけください
(かけ声、おひねり、飲食可)

保存会員の皆様には会費のご協力
誠にありがとうございます